

『自らの生き方を創る子どもの育成』～1人ひとりの個性を生かす教育の推進～

佐野台小学校だより

№32 2025. 10. 29 校長 川上 誠治

いつもありがとうございます。
かんしゃ 感謝しています。
1学期にPTAさんと学校で運動会
の総合得点について次のような話し合
いをしました。

どうして佐野台小学校の運動会は総合
得点がなくなったのですか？ 総合得点
がある方が盛り上がるのに！！

昔、運動会で応援団の勝敗を決めて
いたことがあったのです。しかし、子
どもたちがみんながんばっているのに
勝敗にフォーカスする(にぎわる！？)のは
おかしいとなってやめたのです。そして
運動会でもみんなががんばっている
のに総合得点で勝敗にフォーカスす
る必要があるのかを学校で話し合い、
なくすことになりました。

子どもたちが社会に出たときには勝敗
があります。だから小学校の時から
勝敗も大切だと考えています。勝って
まな 学ぶこと、負けて学ぶことがあると思う
のですが…。

確かに勝って学ぶこと、負けて学ぶこと
はあると思います。だから学年ごと、ブ
ロックごとの勝敗はつけるようにして
います。

学年ごと、ブロックごとの勝敗をつける
なら総合得点をつけるのも同じじゃない
ですか？

勝敗をつけることではなく、運動会
の目的である集団活動の喜び、
連帯感、共働より、勝敗にフォーカ
スするので総合得点をなくしたので
す。たとえば『〇〇さんのせいで負け
た』『◆◆さんがいるから負ける』など
勝敗にフォーカスする言動があった
から総合得点をなくすることにしたの
です。学年、ブロックでは〇〇さん、
◆◆さんのことをわかっているので
そういう言動は起こりにくいのです
が、総合得点にすると〇〇さん、◆◆
さんのことをわからない子どもたち
がそういう言動をしたということが
あったそうです。実際に総合得点をな
くしてからは勝敗にフォーカスする
言動、ギスギス感、プレッシャーがな
くなったそうです

勝敗にフォーカスする子どもはいる
と思います。ただ『〇〇さんのせいで
負けた』『◆◆さんがいるから負ける』
はダメですよね。学校だけではなくPTA・保護者が一緒にになって指導して
いきましょう。もしみんなのことをよ
く知らないというのであればわくわ
く活動などでみんなが仲良くなれる
ような取り組みをすることが大切じ
やないですか？

『学校だけではなくPTA・保護者と
してもそういう言動をしないように
指導していきましょう』が本当に心強い
です。ありがとうございます。確かにわ
くわく活動などでみんなが仲良くなれ
るような取り組みをすることが大切で
すよね。



運動会の目的に集団活動の喜び、
連帯感、共働というのであれば自分た
ちの学年、ブロックが終われば応援しな
くなる可能性もありますよね。しかし、
総合得点になれば最後の最後まで自分
たちの色を応援しますよね。



確かにそうですね…。



総合得点がなくなったことをぼくたちは
知らなかったのです。なぜ総合得点をな
くしたのかがわからなかったのです。



そうなんですね。学校からプリントがあ
ったとはきいていますが…。これからは
PTA実行委員会、学校だより、ホーム
ページなどで情報共有していきます
ね！！



子どもたちも総合得点の方が最後まで
応援できるのに！！と言っているので
す。子どもたちの声を聞いてほしいので
す。子どもたちの声を大切にした学校
にしてほしいのです。



2024年12月25日に中央
教育審議会の『初等中等教育における
教育課程の基準等の在り方について』
の諮問(次の学習指導要領のもとになります!!)の
なかで次のように書いています。

これから我が国を担う子供たちは、激
しい変化が止まることのない時代を生
きることになります。(中略)異なる
価値観を持つ多様な他者と、当事者
意識を持って対話をを行い、問題を
発見・解決できる、「持続可能な社会の
創り手」を育てる必要性がこれまで
以上に高まっていると考えられます。

文部科学省

『社会の創り手』を育てるためには子
どもたちが『学校を創る』経験が必要だ
と考えています。『学校を創る』とは子
どもたちの声を大切にして学校を変え
ていくということです。ただすべてを子
どもの言葉通りにはできません。
その方法は異なる価値観を持つ多様
な他者と、当事者意識を持って対話を
行う必要があります！！子どもたち
の声は大切にしますが、教職員として
の経験や思い、願いなどをしっかりと子
どもたちに伝えることも大切だと考
えています。そして問題を発見・解決して
いくことが大切です！！

PTAのみなさんの『子どもたちの声
をきいてほしい』『子どもたちの声を
大切にした学校にしてほしい』はこれか
らの子どもたちに、学校で大切にすべき
ことなのです！！